

令和7年度宮城県献血推進協議会議事録

令和8年2月9日午後1時30分から、宮城県行政庁舎特別会議室において、令和7年度宮城県献血推進協議会を開催した。

司会

定刻となりましたので、ただ今から「令和7年度宮城県献血推進協議会」を開催いたします。

はじめに、定足数及び議事の公開について、ご報告させていただきます。

本協議会条例第4条第2項において「委員の半数以上が出席しなければ開くことができない」と規定されています。

本日は委員17名に対し、12名の委員にご出席いただいていることから、会議が有効に成立していることを申し上げます。

また、本協議会は宮城県情報公開条例により公開を原則としていますので、公開で進めさせていただきます。

会場にて出席されている委員の皆様にご覧いただけます。

本協議会の議事録を作成するため、会議内容を録音しておりますので、ご発言の際は、お手数ですが挙手の上、事務局員がお届けするマイクをご使用願います。

次に、オンラインで出席されている委員の皆様にご覧いただけます。

1点目。議事進行中は「マイクをミュート」に、また、「画像をオン」にしてください。

2点目。議事進行中、「音声がかき消えにくい」「画像に乱れが生じている」といったご連絡はチャット機能を使用して事務局までお知らせください。

3点目。各議事において、質疑応答の時間を設けます。質問がございましたら、「挙手ボタン」を押してください。事務局または議長からお声がけいたしますので、その後、音声を「オン」にして発言願います。

本日の会議はタブレット端末を用いてペーパーレスで行います。操作方法についてご説明しますので、会場の皆様はお手元に配布したタブレットをご覧ください。オンライン出席の委員の皆様は、申し訳ありませんが少々お待ちください。

タブレット端末上に会議資料が一覧表示されており、タップすると資料が開きます。試しに、一番上の「1_次第・名簿」を押してみてください。

皆様、資料は開けましたでしょうか。画面を指で右から左へスライドするとページが進み、左から右へスライドするとページが戻ります。会議資料一覧の画面に戻る場合は、左上の「戻る」をタップしてください。

タブレットの不具合や、操作が分からない場合は事務局員が説明いたしますので、恐れ入りますが挙手でお知らせください。

なお、事務局が説明する際は、皆様の画面を同期させていただき、自動で資料が表示されますので、特段の操作は不要です。

また、説明が終わるごとに同期を解除しますので、質疑等の際はご自由に資料をご覧ください。

それでは、開会に当たりまして、宮城県保健福祉部薬務課長の長谷部からご挨拶申し上げます。

薬務課長

【あいさつ】

司会

議事に入ります前に、今般、任期満了に伴いまして、協議会委員の改選が行われておりますので、本日ご出席の委員の皆様をご紹介します。

【各委員の紹介】

なお、公益社団法人宮城県医師会会長 佐藤和宏委員、宮城県教育庁保健体育安全課長 佐藤俊明委員、日本赤十字社宮城県支部事務局長 千葉委員、宮城県学生献血推進実行委員会代表 益山委員、宮城県私立中学高等学校連合会の学校法人仙台育英学園理事長 加藤委員は、本日所用により欠席でございます。

本協議会条例第4条第1項の規定により、会長が議長となり進行することとなっておりますが、会長が選任されるまでの間、暫時、事務局の薬務課長の長谷部が進行を務めさせていただきます。

薬務課長

それでは、議長が決まるまで進行を務めさせていただきます。議事の前に、議事録署名委員を指名させていただきます。本日は名倉委員と野上委員の二人をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

両委員

【承諾】

薬務課長

それでは、議事に入ります。

議事（1）「宮城県献血推進協議会会長及び副会長の選任について」でございます。

会長及び副会長の選任につきましては、献血推進協議会条例第3条の規定により、委員の互選によって定めることとなっております。

委員の皆様、ご意見がございましたらお願いいたします。

鈴木聡委員

会長は張替委員に、副会長は金田委員に就任をお願いしてはいかがでしょうか。

薬務課長 　　ただ今、会長は張替委員に、副会長は金田委員をお願いしてはとのご意見がございましたが、委員の皆様、いかがでしょうか。

各委員 　　【異議なし】

薬務課長 　　ご異議なしとのことですので、張替委員におかれましては会長を、金田委員におかれましては副会長を、お引き受けくださいますようお願いいたします。

両委員 　　【承諾】

薬務課長 　　それでは、張替会長には、就任のご挨拶をいただくとともに、ここからの議事進行をお願いしたいと存じます。

会長 　　【あいさつ】
それでは、議事に入りたいと思います。
議事(2)「令和6年度献血実績について」、事務局より説明をお願いします。

事務局
(薬務課)
会長 　　【説明】
ただいまの説明につきまして、ご質問・ご意見等はございませんか。

各委員 　　【質疑等なし】

会長 　　ご意見・ご質問がないようですので、次の議事に移ります。
続きまして、議事(3)「令和7年度献血実施状況及び献血推進状況について」、事務局より説明をお願いします。

事務局
(薬務課及び血液センター)
会長 　　【説明】
ただいまの説明につきまして、ご質問・ご意見等はございませんか。

各委員 　　【質疑等なし】

会長 　　献血手帳がなくなって、スマホのアプリになったのですか。

事務局
(血液センター) 　　はい。1月5日からは献血カードの更新・発行がなくなりまして、今はスマートフォン上に登録いただいているアプリを主として行っております。

会長 他にご意見・ご質問がないようですので、次の議事に移ります。
議事(4)「令和8年度献血推進計画(案)について」、事務局より説明をお願いします。

事務局 【説明】
(薬務課及び血液センター)

会長 ただいまの説明につきまして、ご質問・ご意見等はございませんか。
この「東北の割り当て」というのは人口比で決まるのでしょうか。どういう根拠でこういう数字になるのですか。

事務局 全血献血に関しましては、献血可能年齢人口から算出されております。
(血液センター)

金田委員 計画については賛成ですが、同じような質問になりますけれども、必要献血者数が毎年少しずつ、何十人かずつ増えているというのはどういう計算をしているのか教えてください。

事務局 目標については過去3年の供給状況などから算出しております。また、東北6県の中で青森・秋田・岩手などは人口減少が激しい地域となっております。そのため、献血可能年齢人口の割合を多く有している宮城県の役割が年々大きくなっており、他県では目標が下がっているところもありますが、宮城県については増加している状況です。広域事業運営体制を行っておりますので、東北6県の献血も含めた採血目標となっております。

金田委員 ありがとうございます。

会長 今のお話に関連して、地方は献血可能人口が急に減っていくと思いますが、毎年の目標はあまり変わらない数字になっています。これは可能なのでしょうか。少子高齢化で特に東北は献血可能人口が急激に減ってきていると思いますが、目標が変わらないのであれば、その乖離に対して何が起きているのでしょうか。

鈴木聡委員 代わってご説明いたします。東北ブロックでは全国の約6.5%程度を人口比で割り当てられており、その中で各県に配分しています。人口が減る中で、献血可能人口は今のところ微弱な減少で推移しているところですが、今後は会長ご指摘のように減っていくと思われれます。現在はその入り口におり、その前兆として宮城県の責任が増えてきている状況です。今後数年の間に東北全体における献血可能人口の減少を踏まえ、広域事業における責任分担の変化などが予測されますが、今のところは東北全体での人口減少分が宮城県にかかっているという現状でございます。

会長 ありがとうございました。
その他、委員からご質問・ご意見等はございませんか。

西村委員 若年者の理解促進のための活動も入れられておりますが、やはり若者にどうやって理解をいただくかということが重要だと思います。学校に行かれた場合に、どれぐらい今協力していただける環境にあるのか、およそ分かるものでしょうか。

事務局
(薬務課) 協力という点では、コロナ禍において対面での機会が一度なくなってしまった影響がございます。現在の高校生は献血に触れない、知らないという機会が発生してしまったため、一時的に下がっております。それを少しでも解決したく、昨年度から血液センター、教育庁、我々で回らせていただき、まずは県立高校の方に力を入れています。一方で私立高校につきましても、これまでも色々ご協力いただいておりますので、引き続き機会があれば実施していただくよう取り組んでおります。

会長 よろしいでしょうか。
他に質問・ご意見ないようでしたら、「令和8年度献血推進計画(案)」につきましては、事務局案のとおり承認ということでよろしいでしょうか。

各委員 【異議なし】

会長 では、案のとおり決定することといたします。
ご用意した議事については以上となりますが、委員の皆様から何か追加でご発言・ご意見ございませんか。

鈴木亨委員 若年層への広報活動について意見を述べさせていただきます。高校生なり若年層本人だけではなくて、家族ぐるみで話題作りをするような、もしくは友人同士の口コミとか、そういったような手法というものも含め広報活動を考えられるといいのかなと思いました。

事務局
(薬務課) 貴重なご意見として参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

会長 ありがとうございます。他によろしいでしょうか。
それでは、以上で献血推進協議会の議事を終了したいと思います。
事務局に進行をお返しします。

司会 張替会長、議事進行いただきありがとうございました。
これをもちまして、令和7年度宮城県献血推進協議会の一切を終了いたします。皆様、大変お疲れ様でした。

審議内容を明確にするため、議事録署名人が署名した。

署名人

署名人
